

16 EBPM実践のためのフレームワーク研修

【合同研修】

目的	デジタル社会実現のために必要となる、EBPM（証拠に基づく政策立案）の概念や、EBPMに基づくKPI活用を考え方を学び、政策形成能力の向上を図る。			
内容	(1)EBPMに関する知識、理解度の共有を図る。 (2)EBPM実践のために必要とされる思考法を学ぶ。 (3)実際の事例に対する真因追及を行い、新たな政策提案をする。			
実施年月日	令和7年10月29日（水）～30日（木）	定員	48名（市町村職員12名 県職員36名）	
対象者	（市町村） 係長等の職員 （県） 係長級キャリアアップ研修対象者で、受講を希望する職員			
実施場所	大分県自治人材育成センター			
推薦期限	令和7年9月24日（水）	《第11回》	経費内訳	内訳表1
指定ホテル	—	その他留意事項	—	
研修講師 （プロフィール）	【株式会社Co-Lab 代表取締役 伊藤 史紀（いとう しみのり）氏】 ～2010年 メーカー向け製造受託サービス（EMS）のベンチャー企業で、創業時から株式会社店頭公開に至るプロセスを経験。生産管理・営業・人事などの多様な職種でマネージャーを務める。その後、旅館・リゾートホテルの運営受託会社へ転職。現場から支配人までを経験。 2010年 個人事業主として独立。組織開発・人材開発のプロとしてThe Bob Pike Group プロフェッショナルトレー認定を取得。研修講師として、また、コンサルタントとして、組織の規模拡大や事業承継等に伴う組織変革を支援。 2015年 早稲田大学マニフェスト研究所 人材マネジメント部会の専門幹事となる。100を超える自治体の組織変革を支援。政令市の外部評価アドバイザーや組織変革プロジェクトなどにも取り組む。人事コンサルタントとして人事制度構築などのコンサルティングを行う 人事系のセミナーなどを多数実施。 2017年 株式会社Co-Labを設立。共同経営者4名体制で、自治体の組織開発・人材開発や、中小企業の経営理念・戦略立案から実行支援などを手掛けている。また、個人向けの支援としてパーソナリティ診断をベースとしたコーチングや、オンラインサロンの運営なども行っている。			
受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・アイスブレイクも非常にうまく、2日間通してとても勉強になった。多くの職員が受講すべきと感じた。 ・改めてデータ（根拠）の大事さを学べた。また、そのデータを活用したEBPMのフレームワークは非常に参考になり、今後の業務に活用していきたい。 ・今回の研修では、AIの活用方法について多くの提案があり、目からウロコが落ちる思いであった。昨今、AIの進歩について、たびたび耳にする機会も多く興味があったが、実際の活用法について不明な点も多かったことから、今回の研修が役に立った。 ・ロジックモデル等の研修は今までも受けてきたがエビデンスを意識した今回の研修はとても参考になった。 ・EBPMの基本的な考え方と、それを実務で活用するための具体的な手法を学んだ。 			
備考				

時間割

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
	8:50	20	30					15	
1日目	受付	オリエンテーション	1 EBPMとは	昼食	2 EBPM実践のために必要な思考法を学ぶ 3 クロージング ・2日目までに取り組むこと				
2日目	受付		4 事例に対する真因追及	昼食	5 演習 6 クロージング			閉講	
	8:45	15						15	
	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、予めご了承ください。